

# コロナ禍における地域活動のあり方 研究結果報告書

R3年3月23日

R2年度 地域経営カレッジ  
【コロナ禍における地域活動のあり方】研究グループ  
新市いきいき会 小林 和彦

## 本報告書の活用にあたって

- 新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底することが基本であり、大前提である。
- 現時点の知見をもとにまとめたものであり、日々更新される最新の情報に留意してご活用いただきたい。
- 誰もが未経験のことであり、対策はアイデア次第であるため、対策は案として掲げた。
- 地域内での合意形成を疎かにしないことが肝要であり、地域内で合意形成を図った上でご活用いただきたい。
- 困難な状況にあっても歩みを止めず、まずはやってみる！試してみる！改良してみる！ことが大切である。
- 未経験だからこそ、学び合い、高め合っていくことが重要である。それぞれの経験は、惜しまず、情報として共有するよう努めていただきたい。

# 構成

はじめに

1. 本研究の目的と基本的な方針
2. 研究の進め方
3. 項目別の内容

- |              |           |
|--------------|-----------|
| ① 会議関係       | ② 広報・情報発信 |
| ③ オンラインの活用   | ④ 施設利用    |
| ⑤ 地域福祉活動     | ⑥ 防災      |
| ⑦ 生涯学習・子ども関係 | ⑧ 財源関係    |
| ⑨ その他        |           |

おわりに

- 参考にした資料一覧
- 付属資料一覧

# はじめに

今年度の地域経営カレッジでは、テーマに沿った研究をする「研究グループ」が新設され、昨年からの地域活動に大きな影響を与えている「コロナ禍における地域活動を考える」という気持ちで参加しました。

研究にあたってまず実施した市内30の地域自主組織へのアンケート調査では、全ての組織から丁寧で課題性のあるご回答を頂きありがとうございました。どの組織も工夫しながら地域活動に取り組み、また困惑している現状が明確になりました。そのため、3月のカレッジ最終報告会を待たず、早急に地域へ提示し活用して頂くことが必要と考えました。

皆様のご期待に添えるような提案になっているとは限りませんが、「いまだコロナ禍の真っ最中」です。是非ご活用をお願いいたします。

雲南市地域自主組織連絡協議会の皆様、カレッジ事務局の皆様には、研究推進にご理解とご協力を頂きありがとうございました。



# 進め方① アンケート調査

1. 調査目的 本研究材料として活用するために実施。
2. 調査主体 R2地域経営カレッジ研究グループ  
【コロナ禍における地域活動のあり方】
3. 調査期間 令和2年11月17日(第7回市連絡協)～11月30日
4. 調査対象 全ての地域自主組織(回答数30地区・回収率100%)
5. 調査内容 コロナ禍における地域活動の工夫、今後の予定等、懸案事項について、9つの項目別に照会した。  
{会議関係、広報・情報発信、オンラインの活用、施設利用、地域福祉活動、防災、生涯学習・子ども関係、財源関係、その他}  
また、「特に検討して欲しいと思うこと」も自由記述で照会した。
6. 回答方法 地域経営カレッジ事務局からExcel様式を送付し、メールで回答。
7. 調査結果 本報告書の各項目中に「傾向と考察」として要素を掲載。  
全ての内容は、巻末の付属資料に掲載。

6

# 進め方② 中間報告

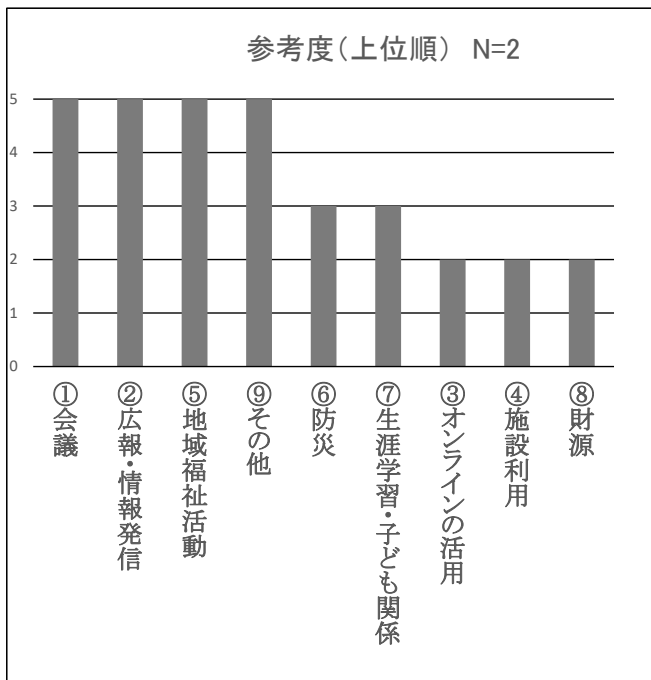
- コロナ禍における対策は喫緊の課題。
- 当年度中の事業、次年度の事業計画に活かしていくためには、できるだけ早く成果をお伝えしなければ、研究成果を活かせない。
- そこで、中間報告時点の内容を「案」として報告し、意見を求める(視聴後WEBアンケート)ことにより、
  - ①早期の活用
  - ②最終とりまとめに向けた意見聴取の機会 とした。

※YouTube再生回数 約100回→  
(市内限定公開)



7

## (参考) 中間報告・視聴後アンケートの結果



※参考度(とても参考になった:3点、ある程度参考になった:2点)の合計点数。点数が多いほど参考度評価は高い。

～意見(要旨)～

### ■特に参考になったこと

- ・地域福祉活動、防災、生涯学習・子ども関係。
- ・広報・情報発信、地域福祉活動は、具体的な現状把握が的確で、解決へ向けての取り組み等示唆に富んでいた。

### ■もっと深めて欲しいこと

- ・各組織の規模等に応じた具体策・重点策・優先順位等の標準化・チャート図化。

### ■その他のご意見、ご感想

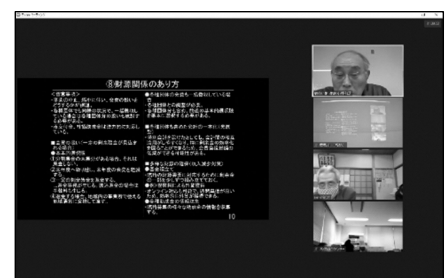
- ・事業開催の判断に困る場合が多くあります。
- ・開催の可否を判断する場合に適切なアドバイスをしていただける人・部署・機関等の情報をいただきたいと思います。
- ・ゆるい勉強会形式でも良いので、テーマを決め、グループ分けをきつくしないで、市が窓口となり、テーマごとの分科会運営はそれぞれ幹事地域を複数単位で選出して運営し、各地域1テーマ以上の参加を基本とする、といった方法だと参加すると思います。

8

## 進め方③ 中間報告・意見交換

～意見の要旨(抜粋)～

- ・利用施設の消毒は、やはり利用者でないと触ったところからわからないので、利用者に消毒してもらう必要がある。習慣化が重要。
- ・食事の困りごとなど、配食の際にわかった。回ってみて状況を掴む必要がある。
- ・福祉部の活動として、自治会福祉委員にチラシをもって特に独居高齢者宅を回ってもらっている。
- ・地域活動に関わってきた子どもは、地域への愛着度が高い。イベントがなくなって関わる機会が少なくなったが、何らかの機会をつくる必要がある。
- ・会議は、確かに終了時間がだらだらと延びることがある。
- ・防災は、家族単位での対応にまで高めていかないと機能しない。
- ・回覧板の感染防止対策も必要。告知放送も活用していきたい。
- ・感染防止グッズを集会所に配っている。
- ・コロナ禍をきっかけに、事業の見直しを考えたい。
- ・秋の地域のまつりは、展示を中心にし、日曜日を含め4日間で開催したが、逆に来場者を拡げることができた。



### ■3回開催(約1.5h/回)

- ① 2月2日PM
- ② 2月3日AM
- ③ 2月4日PM

### ■オンラインで開催

- デジタル活用の観点で参加申込みGoogleフォームで受付

### ■計6地域参加

以上のご意見を参考にし、意見交換からみえてきた課題をアイディア化して補強し、完成版とした。

9

### 3. 項目別の内容

対策が必要だと思われる9項目に分け、アンケート調査結果の傾向と考察をした上で、対策案をまとめた。

- ① 会議関係(総会・一般会議)
- ② 広報・情報発信
- ③ オンラインの活用
- ④ 施設利用
- ⑤ 地域福祉活動
- ⑥ 防災
- ⑦ 生涯学習・子ども関係
- ⑧ 財源関係
- ⑨ その他

- ① アンケートの傾向と考察
- ② 対策案

10

#### ① 会議【11月アンケート調査結果の傾向と考察】

##### ■ 総会

- ・ほとんどが書面表決。
- ・その他は、分散開催、広い会場など。

##### <方法内訳>

- ・書面表決 24地域
- ・分散開催 1地域
- ・広い会場で開催 1地域
- ・短時間で開催等 2地域
- ・役員会で代替 2地域

##### ■ 一般会議

※衛生マナーは社会規範化しており、各地区で標準化しているため、掲載割愛。

##### ● 共通事項

- ・3密になる会議は回避し、短時間で開催。
- ・回数を減らす。
- ・会議内容を精選。
- ・飲食はしない。
- ・緊急事態宣言中は、役員会も書面表決。

##### ● 事例

- ・報告事項は、書面のみで集まらない。
- ・役員会の意思決定は、文書決裁。

- ・忘れた人用にマスクを用意。

##### ■ 懸案と考察(矢印部分)

##### ● 施設上の制約

- ・大きな部屋がなく、一定規模以上の会議ができない。

⇒開催方法の工夫が必要。

##### ● 運営上の制約

- ・理解不足になる。
- ・文書のみだと連絡・周知が徹底しない。
- ・飲食付きの懇親会ができない。
- ・一方通行の会議になる。

→交流、コミュニケーションが不足  
(意思疎通の欠落)

→議論・検討不足、意見反映不足

⇒①合意形成の不足

□(=参加・参画・住民協力を阻害)

②より良い意思決定を阻害

11

## ① 会議【総会】のあり方

### ■書面表決

#### ●メリットとデメリット

##### <メリット>

- ・接触する必要がない。
- ・意見を出しやすい。
- ・内容さえわかれば、誰でも意見することができる。

##### <デメリット>

- ・資料送付、表決書の回収が必要。
- ・資料の作り方が伝わり方を左右する。
- ・議論はできず、意見等は一方通行。

##### <対策の前提>

- ・感染防止対策が第一。
- ・質を高めること(理解度向上)。
- ・メリットを生かすこと(意見提出)。

##### <考えられる対策>

#### ●少人数議論の併用

...少人数で議論後、書面表決する。役員会、部会等、各単位で繰り返す。オンライン併用もあり。

#### ●事前説明の活用

- ・分散、オンライン、広報紙を活用し、事前説明・質疑の場を設ける。

### ▼オンラインの録画配信

...一定期間説明を録画視聴できるようにする。

### ▼プレゼン説明

...配布資料とは別に説明用のスライドを準備し、短時間でわかりやすく事前にプレゼン説明。表決書は全員に配布。

### ▼広報紙の活用

...広報紙に要旨を事前に掲載。配布資料は交流Cで閲覧可能にしておく。

#### ●プラスアンケート

...書面意見をアンケート方式にする。

#### ●規約の点検・整備

・書面表決、オンライン等に対応できるよう整備。

#### ●一人一票制の総会(発展型)

...家族単位で全員に視聴、もしくは資料閲覧してもらい、全員が表決(全員の署名により家族1枚で提出、もしくは委任状方式)。規約改正が必要。

...家族意見を自治会でとりまとめ、代議制とする方法もある。

※提出書面には、手指消毒して触れるよう注意書きしておく。

### ■分散開催

・複数回に分けて開催し、表決数の合計で決する。

### ■広い会場

・3密を回避できる広い会場がある場合のみ、間隔を空け、感染防止対策を講じた上で、短時間で一同に会して開催。

### ■総会の集中開催(衛生環境が確保できる場合)

・重複メンバーが多い場合、各種団体の総会も同じ日程で時間をずらして開催。

12

## ① 会議【一般会議】のあり方

### <必要条件>

- ・入館時の衛生対策に加え、換気、時短による感染リスクの低減。
- ・3密回避(配置、収容人数など)。
- ・接触回避。
- ・合意形成、コミュニケーションは疎かにしないこと!

### <対策>

#### ■報告のみの場合は別の手段を用いる

・一定期間内に寄ってもらう、訪問、郵送、メール、SNS、オンラインの併用など。

#### ■会議の事前設計

・企画書により事前に設計しておく。  
※企画書の様式あり。

#### ■会議終了予定時刻の明示

・何時までに終わる予定なのか、案内文書、会議資料に明示しておく。これにより、

参加者も運営者も意識するようになる。

#### ■会議目的の明確化

・目的を会議資料の議題内に明示する。  
(意見出しのみなのか、決めるのか、何を判断するのかなどのゴール設定)

#### ■事前の資料送付

・会議当日は説明時間を短縮し、議論の時間を確保するため、準備が整う場合は予定資料として事前に配布。

#### ■オンライン活用

①完全オンライン(全員対応可の場合)

②併用型(若者や女性参画にも有効)

##### <オンラインの種類>

・Zoom ...ビデオ付き。録画配信も可能。

・LINE ...グループ設定でき、文字情報に加え、資料・写真共有も可能。

13

# (参考) 会議の企画書

※別途巻末にも掲載。

(会議の事前設計・様式例)

会議名:	企画書
会議の目的	
会議の性質	<input type="checkbox"/> 単発型 <input type="checkbox"/> 連続型(期間: ) <input type="checkbox"/> その他( )
会議のゴール	※次第にも明記
会議の種類	<input type="checkbox"/> 発散(意見出し) <input type="checkbox"/> 収束(まとめ) <input type="checkbox"/> 発散と収束 <input type="checkbox"/> 意思決定 <input type="checkbox"/> その他( )
参集範囲	
想定人数	概ね 名
開催期日	R 年 月 日( ) 時 分 ~ 時 分(予定) ※終了予定時間も設定し、次第への記載を推奨。
開催会場	
途中休憩・換気	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり( 分ごとに 回) <input type="checkbox"/> 当日の状況による
周知・案内の方法	
出欠の確認方法	<input type="checkbox"/> 必要あり <input type="checkbox"/> 必要なし ・切(いつまで) ; ・回答先(どこへ) ; ・回答方法(どうやって);
会議の方法	<input type="checkbox"/> 単一方式(少人数型) <input type="checkbox"/> グループワーク方式(大人数型) <input type="checkbox"/> ワールドカフェ方式 <input type="checkbox"/> 円卓会議方式(多様な主体型) <input type="checkbox"/> その他( )
机の配置方法	<input type="checkbox"/> 2列対面形 <input type="checkbox"/> 半円形 <input type="checkbox"/> 四角形 <input type="checkbox"/> 学校形式 <input type="checkbox"/> 椅子のみ <input type="checkbox"/> その他( )
次第と時間配分	( 分) ( 分) ( 分) ( 分) ( 分) ( 分)
議事要旨の記録	<input type="checkbox"/> 各自 <input type="checkbox"/> ホワイトボード <input type="checkbox"/> プロジェクター投影 <input type="checkbox"/> その他( )
役割分担	進行者: _____ 記録者: _____ その他: _____
準備物	<input type="checkbox"/> 配布資料; <input type="checkbox"/> 機材 : <input type="checkbox"/> 物品 :
次回の日程と内容	
会議後の対応	※欠席者に資料と議事要旨を配布する、議事要旨を全員に配布する等
その他	

# (参考) 会議関係の様式例

※巻末にも掲載

様式例

## 次第の例

〇〇〇協議会  
〇〇〇〇会議 次第

〇年〇月〇〇日  
〇時〇分~〇時〇分  
〇〇交流センター〇〇会議室

会長あいさつ

議題

- 〇〇〇〇について(資料1)  
(建旨) { …を決定したい。本日は…の議論のみとし、次回決定したい。  
…は本日決定し、…は次回決定したい。  
…について意見を求めたい。 }

- 〇〇〇〇について(資料2)  
(建旨) ……

- 〇〇〇〇について(資料3)  
(建旨) ……

報告事項

- 〇〇〇〇について(参考資料1)
- 〇〇〇〇について(参考資料2)

その他

【次回の日程】日時: 月 日( ) 時 分~  
会場:

参加者に何を求めたいのか、  
付議の目的を簡潔に記載。

様式例

## 欠席者への報告例

年 月 日

〇〇〇〇会議 ご欠席の皆様へ

〇〇〇〇協議会  
担当: 〇〇

〇〇〇〇会議の開催結果について(報告)

平素より当協議会の活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。さて、〇月〇日に開催した〇〇〇〇会議にご欠席でしたので、その結果を下記(または別添)のとおりご報告します。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。なお、ご不明な点などございましたら、事務局にご連絡ください。

記

- 開催日 〇月〇日(〇)〇時〇分~〇時〇分
- 開催場所 〇〇交流センター〇〇会議室
- 出席状況 出席者数〇名  
ご欠席者) 〇〇〇〇、〇〇〇〇

- 結果概要
  - 決まったこと  
・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
  - 主なご意見  
・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 〇〇〇〇について
  - 決まったこと  
・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
  - 主なご意見  
・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

- 当日配布資料 別添のとおり

【お問合せ先】  
〇〇〇協議会事務局(〇〇交流センター内)  
担当: 〇〇  
TEL 〇854-40-〇〇〇〇  
FAX 〇854-40-〇〇〇〇  
Mail \*\*\*\*\*

長ければ  
別添方式で

出欠入り名簿  
の添付でも可

簡潔に要点を記載

反対意見も記載を



## ② 広報・情報発信【11月アンケート調査結果の傾向と考察】

### ■ デジタル活用関係

- ・HP、ブログの活用ニーズが増加。
- ・SNSの活用ニーズも増加。  
(Facebook、LINE、Twitter、Instagram...)
- ・それに応じて、スマホ操作勉強会、SNS活用勉強会のニーズが増加。

### ■ 記事の内容

- ・感染予防対策や啓発、健康づくりに関する記事(医師による記事含む)が増加。
- ・普段掲載できない情報を掲載(自治会の情報、地元飲食店の情報、コラムなど)。
- ・明るい話題の提供に努める事例がある。

### ■ 広報の活用

- ・出身者への広報希望もみられる。

### ■ 懸案と考察(矢印部分)

- ・事業や行事の中止に伴い、掲載する記事のネタに困る傾向にある。

⇒こんな時だからこそ、普段掲載できない情報を掲載できるチャンスとも言える。

- ・興味、関心を引く内容になっているか懸念する意見がある。

⇒読者の反響は、よりよい情報発信につながる(意欲や改善)。

- ・デジタル活用、出身者へ届けるなど、広報の活用ニーズの増加。

⇒多様な発信、若者の関わり、地区外応援者の獲得などにつなげるチャンス。

## ② 広報・情報発信のあり方

### <留意事項>

- ・事業中止が多く、掲載記事が少ない。
- ・デジタル活用も重要(特に現役世代)。
- ・こんな時期なので、明るい話題も必要。
- ・情報発信は、地域内の参画者、地域外の応援者獲得の手段になる。
- ・広報紙の場合、読者の反応が欲しい。

### <対策>

#### ■ 掲載記事の工夫

(例)

- 医師や保健師などによる健康記事  
... 普段掲載できない情報を掲載でき、健康不安の解消にもつながる。
- 普段見ない子ども～若者向けの記事  
... 塗絵、4コマ漫画、“この人”の紹介など
- 地元飲食店・事業者の応援記事
- コロナ禍における工夫の記事  
... 工夫の事例を紹介。

#### ● 自治会の状況の記事

... 常会や自治会行事の状況を紹介。

#### ■ 広報紙の読者反応

... 例) メールでの感想募集、来館者への聞き取りなど。

#### ■ HP・ブログ・FBの活用

#### ■ 告知放送の活用

#### ■ 回覧板による感染防止対策

・前後で手指消毒をするよう、板面の表に表記しておく(自治会内でも申し合せ)。

#### ■ SNSの活用

- ・インスタグラム、ツイッターなど、操作勉強会を開催。
- ・情報収集、取材が必要。

#### ■ 出身者とのつながり確保

・SNSや広報紙でつながっておくと地域活動にプラスになる。



### ③ オンラインの活用のあり方

#### <留意事項>

- ・各交流センターのオンライン環境は整っている。
- ・Zoom有料版は、任意団体では契約できない。電子決済が必要。

#### <Zoom編>

##### ■Zoom有料版の契約対策

##### (例)

##### ●事業者への委託

- ・事業者がアカウントを取得。
- ・手数料が必要なので、割高になる。
- ・情報系に強い事業者ならば、支援業務をセットで契約する方法があり得る。

##### ●特定の個人による代行取得

- ・特定の個人に契約してもらう。
- ・料金は、個人に支払う。

##### ■役員や部員等への活用

- ・スマホ対応の場合は、予めソフトをダウンロードしてもらう。

- ・会議出欠の際に、オンライン希望をとる。メールかSNSによる連絡が必須。
- ・若者の参加促進につながりやすい。

##### ■録画配信の活用

- ・会議の説明、講演などをZoom機能で録画しておき、後日配信。

#### <WiFi環境の活用>

##### (例)

##### ■オンライン学習塾

##### ■オンライン研修会

##### ■オンラインツール活用講座

#### <その他>

##### ■デジタル情報のアナログ活用

- ・SNS情報を交流C内に壁新聞として貼り出す、あるいは広報紙に掲載し、見えない人に情報提供。

### ④ 施設利用【11月アンケート調査結果の傾向と考察】

##### ■創意工夫の対応

- ・各地域で創意工夫して対応されている。
- ・交流センター内のWiFi環境は飛躍的に整備が進んだ。
- ・アクリル板の設置や手指自動消毒器、自動水栓、センサーライトの導入など、独自の創意工夫により、設備面を整備する動きがみられる。

##### ■懸案と考察(矢印部分)

- ・感染防止対策の徹底が引き続き必要。
- ・冷暖房と換気対策の兼ね合いが課題。

⇒ノウハウを共有して乗り越えていく必要がある。

- ・利用者の減少に伴う減収対策、感染防止対策の財源が必要。

⇒引き続き、状況に応じた市の財源支援対策が必要。

## ④ 施設利用のあり方

### <留意事項>

- ・一般的な衛生対策は標準化しつつある。
- ・ノウハウを共有して乗り越えていく必要がある。

### <対策の工夫>

#### ■利用者名簿の工夫

##### ●名簿の個票化

- ・個人情報保護対策。
- ・一覧名簿ではなく、個票に記入してもらう。
- ・記入した個票は、見えないよう箱に投函。

#### ■設備面

##### ●自動水栓、センサーライトなどの非接触設備の導入

...バリアフリー設備は、通常利用においても、障がいのある方、高齢者の方など、誰にでも利用しやすいので、コストはかかるが積極的に導入した方がよい。

#### ■消毒対応

##### ●利用者自身による消毒

...触れた個所は利用者が最も把握しているため、利用者に利用前に消毒セットを渡し、利用者にも利用後の消毒をしてもらう。

#### ■冬場の換気・湿度対策

##### ●換気の工夫

・30分に1回窓を全開にするより、常時換気装置を使用するか、対角線上の窓やドアの2か所を少しだけ開けたままにしておく方が換気効果が高く、室温低下も防げる。(R3.1.14発表/弘前大学実験結果より)

##### ●湿度対策

- ・カーテンに霧吹きを定期的にする。
- ・濡れタオルをかけておく。など

#### ■工夫の事例の共有

・工夫の事例を地域間で共有することにより、お互いの参考にする。学校等も含めて

22

## (参考)弘前大学の換気効果実験結果

弘前大(青森県弘前市)は、新型コロナウイルス対策で、効果の高い換気方法に関する実験結果を発表した。30分に1回窓を全開にするより、常時換気装置を使用するか、対角線上に位置する窓やドアの2か所を少しだけ開けたままにしておく方が換気効果が高い上、室温の低下も防げるとした。寒い冬場の換気の際し、教育現場などで参考にしたい。

渡辺淳平理事によると、国のガイドラインは30分に1回以上、数分間窓を全開にする方法を推奨している。その場合、窓を閉めている30分間はウイルスを含む恐れのある飛沫が漂う上、窓を全開にすると、学生から「寒い」との声もあ

←R3.1.19付け山陰中央新報

※弘前大学・施設環境部施設企画課、R3.1.14記者発表内容。

※地方独立行政法人北海道立総合研究機構建築研究本部の実験結果でも、「換気は、間欠換気より、換気扇の常時運転や2方向の窓を常時開けることが有効。」と発表されている。

## 窓少し開放 全開より効果 換気実験 室温低下も防止

弘前大

弘前大は19日以降の対面授業で、実験した換気方法を採用する考え。

講義室前方の窓を5割開け、後ろのドアの開け幅を変えながら測定したところ、幅10センチでは約23分、30センチや50センチでは約18分で空気を入れ替えが完了。いずれも室温に大きな変化はなかった。

つたという。

実験は広さ136平方メートルの講義室に35人程度が在室した状態で実施。二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)濃度を測定し、その変化から換気量を推計した。窓やドアを閉め、学校やオフィスなどに普及している常時換気装置を稼働した場合は、約20分で空気が入れ替わった。

## ⑤地域福祉活動【11月アンケート調査結果の傾向と考察】

### ■各地域の状況

- ・地域福祉のニーズは、相対的に増加。
- ・対象者のニーズは通常期よりも高い。
- ・つながりの確保、見守り・状況把握、健康づくり、介護予防対策など、各地域で積極的に対応されている。
- ・サロンやうんなん幸雲体操は、概ね再開されている。
- ・自治会集会所でのサロンは、スペース的に難しく、見合わせている地域もある。
- ・体操は、自宅での自己管理型や分散集合型にするなどの事例がみられる。

### <主な具体的事例>

- ・子育てサロンでの手作りマスクづくり、マスクの宅配を利用した困りごと相談対応。
- ・要支援者台帳を電話による見守りに活用。
- ・高齢単身世帯への感染症対策グッズの配布、後期高齢者への生活不活発省実態調査を独自に実施。
- ・高齢独居世帯の見守り対策として、AIスピーカーの導入を検討中。
- ・サロンで医師との懇談を取り入れた。

### ■懸案と考察(矢印部分)

- ・飲食ができず、コミュニケーションが図りにくい。

⇒飲食しなくても可能な方法、もしくは感染防止対策と両立できる方法を見出す必要がある。

- ・自治会単位のサロン中止により、サロンの機会が減少し、自治会の意欲も低下する。
- ・サロンなどの集いでは、距離を保ったり、飛沫拡散防止パネルを設置したりすると会話が弾まず、交流を阻害する。

⇒感染防止を第一に、自治会単位のサロンの代替策、有効なサロンの方法など、可能な方法を見出す必要がある。

- ・安否確認が十分できない。
- ・警戒が必要になればなるほど、地域福祉のニーズは高くなるが、感染防止対策との両立が課題になる。

⇒緊急事態宣言時並みの警戒が必要になった場合でも対応できる、つながりの確保、見守り・状況把握の方法を見出す必要がある。

⇒日頃の助け合いを推進するチャンスになり得る。

## ⑤地域福祉活動のあり方

### <留意事項>

- ・飲食は工夫が必要。
- ・重要課題につき、実施を前提とした工夫が必要。
- ・つながり、見守り・状況把握、生活支援、認知症防止、介護予防につながるように。
- ・自治会集会所でのサロンは、スペース的に3密回避が難しい場合が多い。
- ・敬老会などの集合型イベントは開催が難しい。

### <工夫のアイデア>

#### ●分散開催

- ・時間をずらして寄る。
- ・複数の会場に分ける。
- ・曜日を分ける。
- ・会場ごとに衛生用品が必要。

#### ●広い会場で開催

- ・広い会場がある場合。

#### ●自治会単位のサロン

- ・少人数に分けて開催する。
- ・移動サービスにより、交流センター等の広い会場で行う。

#### ●飲食の工夫

- ・ペットボトル、個別包装にする。
- ・とりわけはしない。
- ・距離も保った上で、アクリル板で仕切る。  
※会話のしやすさの確保が必要。

#### ●日頃のつながり、見守り、状況把握

- ・福祉と防災は表裏一体。
- ・平常時の動きがなければ、非常時に対処できないので、見守り・声掛けの仕組みを導入しておく必要がある。

#### (その他のアイデア)

- ・マスクを使ったコミュニケーション講座
- ・サロン×オリジナルマスクづくり
- ・AIスピーカーの活用

## (参考) AIスピーカーの活用例



### ■Amazon「echo show5」の場合の特徴

#### <メリット>

- ・声だけで、ほとんどの操作ができる。学習機能あり。
- ・WiFi環境さえあれば、使用料無料。
- ・スマホやタブレット、パソコンと比べると端末が安い。(1台約1万円。セール時は約半額。)
- ・テレビ電話ができ、見守りモニターとしても使える。
- ・一斉告知機能もある。
- ・声だけで操作できるので、SOSを出しやすい。
- ・スマホのアプリからも操作可能。

#### <デメリット>

- ・電源が常に必要。
- ・まだまだ進化中で、うまく動かないこともある。

### ■活用アイデア(例)

- 交流Cと要支援者間で、テレビ通話し、顔を見ながら安否確認。
- 一斉ページング放送で、サロンや幸雲体操への参加を呼びかけ。
- 災害時に、一斉ページング放送で一時避難を呼びかけ。
- ゴミ出しの曜日を設定し、いつでも音声で確認可能に。
- 認知症予防(話しかけてみたくなるので、話し相手として)

26

## ⑥防災【11月アンケート調査結果の傾向と考察】

### ■訓練の工夫

- ・訓練は、安否確認、情報伝達訓練に切り替えた地域が多い。
- ・自治会単位、あるいは特定の自治会のみでの参加とするなど、小規模での研修や訓練を実施した地域がみられる。
- ・サロン時や福祉・人権研修時に、防災研修を同時開催した事例がある。
- ・家庭単位で災害時の対応を話し合う場を設けようとする地域もある。

### ■避難所の運営

- ・避難所用の感染防止資機材は、市からの配布もあって、ある程度進んだ。
- ・年度末の予算残の状況みて備品整備を判断する地域もある。
- ・3密を避けるため、一時避難場所を見直す動きがみられる。
- ・市からコロナ版避難所運営マニュアルが配布された。

### ■懸案と考察(矢印部分)

- ・大人数の集合訓練・研修ができない。  
⇒家庭単位で考え、行動する自助力向上のきっかけにできる可能性がある。
- ⇒他の集合機会を活用するなど、一石二鳥型の事業展開も有効。
- ・分散避難が必要。  
⇒一時避難場所の再検討につながる。
- ・感染症防止対策を講じた避難所の開設・運営が課題。  
⇒コロナ版避難所運営マニュアルの作成、試行、検証が必要。
- ・備品の増加に伴い、保管場所が課題。  
⇒指定避難所、一時避難所を念頭においた保管場所を確保する必要がある。

27

## ⑥防災のあり方

### <留意事項>

・訓練は、接触機会が低減できるものは実施できる。

### ■訓練の工夫

#### ●安否確認・情報伝達訓練

・SNSを活用する方法もある。  
・集合住宅は、色を決めたタオルをベランダに巻き付けてもらい、効率的に安否確認する方法がある。

#### ●在宅避難の方法訓練

・在宅でどのように行動すべきかを訓練して習熟しておく。

#### ●家族での対応

・家族会議をもって避難方法を確認するなど、訓練の一つの項目として加えておく。

#### ●コロナ版避難所運営マニュアル

・市配布のマニュアルをもとに訓練しておき、内容の検証、動きの確認をしておく。

#### ●一石二鳥型

・例えば、サロンや各種行事などで集う機会に、合せて防災学習や避難訓練を兼ねて実施する。

・会合等の情報連絡をする際、安否確認訓練を兼ね、電話等で伝達・確認する。

### ■防災グッズ・備品に衛生用品を追加

・消毒液、マスクなどを持ち出しバックに常備。

・指定避難所、一時避難所を念頭において保管場所を確保する。

### ■在宅避難の増加対策

・避難所を災害活動の拠点にできるようにする(被災者支援拠点)。

### ■一時避難所の再検討

・コロナ対策を考慮した一時避難所を確認・再検討しておく。

## ⑦生涯学習・子ども関係【11月アンケート調査結果の傾向と考察】

### ■子どもの活動

・臨時休校中、自主的に子どもの居場所を設けた地域が複数ある。

・テントでの宿泊体験、夏休みの体験活動はほぼ中止。

・通学合宿は中止。

・クリスマス会は、参加者を限定し、飲食なしとした事例が多い。

・小学校の学習発表会を交流センターにオンライン中継して小学校の入場制限を補完、あるいは軽スポーツ時のマスク着用の扱いについて学校での対応を準用するなど、学校と連携した事例がみられる。

・LINEで保護者と意思疎通を図って夏休みの図書室開放に活かした事例がみられる。

### ■食を伴う活動

・料理教室や蕎麦打ちなどの食を伴う活動は、中止もしくは調理のみで持ち帰る対応が多い。

### ■秋の文化祭

・一定期間を確保して展示のみとした地域が多い。

・芸能発表は、広大な会場が確保できた地域は3密対策を講じて実施。

### ■懸案と考察(矢印部分)

・子どもの3密回避は難しく、体験・交流活動、通学合宿は困難。

⇒サン・レイクなどの専門機関の知見を活かすことが有効。

⇒子どもの活動は、保護者との意思疎通、学校との連携が重要。

⇒この機会が事業見直しのチャンスになり得る。

・人によってコロナ禍での危機感に差異がある。

⇒感染症の正しい知識は前提として必須。

## ⑦生涯学習・子ども関係のあり方

### <留意事項>

- ・学校の指針が役立つ。

### ■通学合宿

- ・1～2泊の短期型とし、リスク、負担を軽減する。
- ・学校と連携し、学校の指針、授業方針を参考にする(例:調理の際の方法等)。

### ■学校・保護者との意思疎通

- ・講座や研修等により、感染症に関する正しい知識の最新情報を住民レベルで学んでおく。
- ・子どもの活動は、学校や保護者との意思疎通が欠かせない。
- ・学校との定期的な意思疎通や保護者の意見を聞く機会を設ける。

### ■文化祭

- ・展示は、一定期間確保する。
- ・HPなどでのネット展示もあり得る。

### ■野外体験活動

- ・サン・レイクから学んだ知見を活かせば実施可能。

### <R2.12.8サン・レイク体験活動について考える研修会の際の学びの要点>

- ①手指消毒の徹底と3密回避の徹底。  
...自分の身は自分で守る！が基本。
- ②事前の健康チェック。
  - ・2週間前からの健康チェック表提出。
  - ・滞在時、毎朝健康チェック表提出。
- ③最新の情報収集と共有。
- ④その他参考事項
  - ・湿度40%以上を推奨。
  - ・利用者自身で利用後の消毒を行うこと。
  - ・熱中症対策を優先すること。
  - ・できるだけ安心の見える化を図ること。
  - ・100%の予防策はなく、自分の身は自分で守る(セルフエイド)が基本。

## (参考)集合行事の代替アイデア

### ～納涼祭～

#### ■現象課題

- ・ステージイベントができない。集まらない。
- ・若者による屋台が難しい。

#### ■本質課題

- ・地域の一体感を育む機会がなくなる。
- ・住民同士の交流ができない。
- ・若者の担い手育成機会がなくなる。

#### ■代替アイデアの一例

##### ●若者が関わった配食イベント

- ・若者にミッションを与え、任せてみる。
- ・屋台出店を自分達で考えるように。
- ・子どもと高齢者に、宅配。
- ・注意喚起のチラシとともに。
- ・地域内を把握し、災害時の備えに。
- ・若者の動きで一体感を補完。

### ～秋のお祭り～

#### ■現象課題

- ・ステージイベントができない。集まらない。
- ・展示は大勢が集まり、密になりやすい。

#### ■本質課題

- ・地域の一体感を育む機会がなくなる。
- ・住民同士の交流ができない。
- ・住民、子ども達の展示紹介機会がない。

#### ■代替アイデアの一例

##### ●展示期間の延長(下熊谷地区実施)

- ・日曜日をはさみ、数日間展示。
- ・曜日によって、参加しやすい人が異なるので、大変好評だった。
- ・いつもより、来場者は増加。



# (参考) 集合行事の代替アイデア

## ～ 地区体育大会(運動会) ～

### ■ 地区体育大会(運動会)の開催目的

- ・スポーツを通じた健康づくり
- ・地域の一体感の醸成
  - …子どもから高齢者まで、最も多くの住民が集う行事。
  - …終了後、各自治会の慰労会で懇親を深める機会。

### ■ 開催できない要因

- ・集合観戦、集団競技がネック。

### ■ 代替アイデアの一例

#### ● 地区内チャレンジデー

- ・家庭単位で運動し、その人数を自治会単位で集約。
- ・自治会対抗で考え、競い、賞品、景品を授与。
- ・賞品は自治会運営に資するもの、景品は世帯単位で。  
(防災グッズなど)

32

## ⑧ 財源関係【11月アンケート調査結果の傾向と考察】

### ■ 会費の扱い

- ・本年度と来年度の扱いは、地域によっていくつかのパターンに分かれる。
- ・来年度の会費徴収の扱いは、本年度の状況をもて検討中の地域が多い。

#### <会費の扱いのパターン>

- ・本年度会費は、変更なし(返金なし)。
- ・分割集金の未集分は集金しない。
- ・本年度の決算見込を踏まえて、来年度会費の軽減を判断。
- ・来年度の会費は、軽減の方向で検討。
- ・来年度の会費は、未定。

- ・将来的な世帯数の減少により、通常期でも収入減が予想される。

### ■ その他の自主財源

- ・事業の中止や利用者数の減少に伴い、事業負担金や会場使用料、コピー使用料などが減少。

### ■ 財源の使途

- ・事業中止に伴う残額の扱いに苦慮。
- ・事業の中止・変更に伴い、財源の充当先は柔軟に変更。
- ・事業の中止ありきではなく、できる方法を考えて実施し、財源を有効に活用。

### ■ 懸案と考察(矢印部分)

- ・自主事業の利用者減に伴う収入減の対応。

⇒各種助成金の活用も模索が必要。

⇒有事に備えた収入源の多角化も検討しておく必要がある。

- ・次年度へ持ち越した事業の扱い。

⇒財源もセットで繰り越す必要がある。

- ・事業の中止に伴い、剰余金が生じる。
- ・将来的な世帯数減少による収入減。

⇒有事や将来に備え、一定の基金を確保しておく必要もあるが、地域の理解が不可欠。

33

## ⑧財源関係のあり方

### <留意事項>

- ・事業の中止、縮小に伴い、会費の扱いをどうするかが課題。
- ・各種団体でも同様の状況で、一括徴収している場合は各種団体分の扱いも検討する必要がある。
- ・市交付金、社協助成金は弾力的に対応している。

### ■会費の扱い(一定の剰余残金が見込まれる場合)

#### ●基本的選択肢

- ①分割集金の未集分がある場合、それは集金しない。
- ②来年度へ繰り越し、来年度の会費を軽減する。
- ③一定の剰余残金を返金する。  
...返金事務が生じる。振込返金の場合  
は手数料も生じる。
- ④返金する場合、地域内の事業所で使える地域通貨に変換して渡す。

- 各種団体の会費も一括徴収している場合
- ・各種団体との調整が必要。
- ・各種団体分も含め、前述の基本的選択肢を基本に選択する必要がある。

### ■各種団体も含めた会計の一本化(発展型)

- ・特別会計を設けたとしても、会計間の相互流用がしやすくなり、特に剰余金の効率化を図ることができるため、会費負担総額の低減ができる可能性がある。

### ■多様な財源の確保(収入減少対策)

#### ●基金積立て

- ・臨時の財源需要に対応するために剰余金の一部を少しずつ積み立てておく。

#### ●例)視察料による外貨獲得

- ・オンライン対応も可能で、時間単価が高いため、効率的に外貨が獲得できる。

#### ●各種助成金の情報収集

- ・臨時募集の様々な助成金の情報を収集する。

34

## ⑨その他【11月アンケート調査結果の傾向と考察】

- ・事業見直しの機会につなげようとする地域もある。
- ・コロナ禍でも、できる対策をしっかりと行おうとする地域もある。
- ・図書館の図書貸出を支援したいという地域もある。
- ・県外講師を招聘できず、予定していたAED講習ができなかった事例がある。

### ■懸案と考察(矢印部分)

※設問「特に検討して欲しいと思うこと」から主なものを抜粋。

- ・罹患者への誹謗中傷対策が必要。

⇒人権に係る問題として研修が必要。

- ・コロナ禍で、かえって地域活動に対する住民の関心が高い。

⇒地域活動の参加者・参画者増のチャンスになり得る。

- ・コロナ禍での地域活動には感染のリスクが伴い、不安を抱えながら対応している。

⇒正しい知識の普及と最新の知見の収集、行政等による支援も必要。

- ・歌を歌う活動はどうしたらよいかなど、どのようにすれば実施できるか、最善の方法は何なのか、指針があれば参考にしたい。

⇒3密を避けるなどの社会規範を基本とした上で、様々な知見、事例の共有などにより、見出していく必要がある。

- ・工夫のアイデアを出しても、萎縮され、理解を得るのに苦労する。

⇒考える段階から、一緒になって考える必要がある。

35

## ⑨その他のあり方

### ■事例共有・知見の共有

- ・事例共有、専門的な知見の共有が必要かつ重要である。

### ●定期的な共有(年複数回)

- ・各地で行われているコロナ禍における対応の工夫をオンライン等も活用して事例共有できる場を定期的に設けることが有効である。

### ●全体共有会(3年に1回程度)

- ・この方法は通常期であっても同様であり、以前実施されていた取組発表会のような全体共有の機会を3年に1回は設けた方がよい。

### ■事業の見直し

- ・コロナ禍は事業を見直しせざるを得ない機会となっているが、見直ししにくかった事業を見直せるよい機会である。
- ・単純に前例踏襲するのではなく、事業全体の見直しに活かした方がよい。
- ・住民の関心が高くなっており、事業の立案

段階から、広く一緒になって考えるように進めた方が参画者の増加につながりやすい。

### ■各種団体の行事との関係

- ・体育行事は軒並み中止となったが、運動会などの地域全体に係る行事は、体協だけでなく、地域全体で今後の方針を考える必要がある。
- ・そのためには、全体で協議できるよう各種団体と調整して議題に計上するか、もしくは地域自主組織の中に取り込む方法が考えられる。
- ・交通安全協会などの各種団体も同様。

### ■人権への配慮

- ・新型コロナウイルス感染者や家族等に対する誹謗中傷を防止するため、人権意識を高める研修機会を繰り返し実施していく必要がある。
- ・状況、情報は変化していく可能性があるため、常に最新の知見に情報を更新し、学びの歩みを止めないことが肝要。

36

## おわりに

この報告書では、「コロナ禍における地域活動のあり方」について報告させて頂きました。今回、途中で行った中間報告では、「YouTubeでの配信」「オンラインでの意見交換」と、これまであまり馴染みのなかった手法を用いました。

私は実際にやってみて、こうしたことが「コロナ禍における情報共有」にとっても有効であると感じ、地域づくりにSNS等の活用はやはり必要だと改めて感じたところです。

巷では、“withコロナ”、“afterコロナ”と云われています。私たちは地域活動を止めることができません。いつまで続くのか…という不安の中で、30の地域自主組織が「情報発信と共有」「工夫と実践」のもとで力を合わせていかなければならないと思います。

今回の研究にご協力いただいた皆様に改めてお礼申し上げます。

37

## 参考にした資料一覧

- (各地域自主組織への)コロナ禍における地域活動のあり方に関するアンケート調査結果報告書(R2.11月/当グループまとめ)
- 弘前大学・教室の換気効果実験の結果記者発表(R3.1.15弘前大学HP掲載)  
→<https://www.hirosaki-u.ac.jp/53573.html>
- (地独)北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所:「北海道の冬季の寒さに配慮した学校の換気方法」(R2.12)  
→[http://www.hro.or.jp/list/building/koho/develop/gakko\\_kannki\\_syosai.pdf](http://www.hro.or.jp/list/building/koho/develop/gakko_kannki_syosai.pdf)
- 小規模多機能自治推進ネットワーク会議「コロナ禍における工夫の事例」第2次調査結果(R2.12月/全国の会員への調査結果)

## 付属資料一覧

- ①(各地域自主組織への)コロナ禍における地域活動のあり方に関するアンケート調査結果報告書(R2.11月/当グループまとめ)
- ②会議の企画書(様式例)
- ③会議の次第(様式例)
- ④会議欠席者への会議結果報告(様式例)

## コロナ禍における地域活動のあり方に関するアンケート調査結果報告書

R2地域経営カレッジ研究グループ  
[コロナ禍における地域活動のあり方]  
新市いきいき会 小林 和彦

地域経営カレッジ研究グループ「コロナ禍における地域活動のあり方」の研究材料として活用するため、地域自主組織の皆様にご協力いただきアンケート調査をお願いさせていただいたところ、全ての地域から回答していただきました。ご回答いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

このたび調査結果をとりまとめましたので、以下のとおり報告します。この調査結果を活かし、皆様の今後の活動に活かせるよう研究を進めて参ります。

ご協力ありがとうございました。

### =====**< 調査の概要 >**=====

1. 調査目的 地域経営カレッジ研究グループ「コロナ禍における地域活動のあり方」の研究材料として活用するもの
2. 調査主体 R2地域経営カレッジ研究グループ  
【コロナ禍における地域活動のあり方】
3. 調査期間 令和2年11月17日（第7回市連絡協）～11月30日
4. 調査対象 全ての地域自主組織（回答数30・回収率100%）
5. 調査内容 コロナ禍における地域活動の工夫、今後の予定等、懸案事項について、9つの項目別（会議関係、広報・情報発信、オンラインの活用、施設利用、地域福祉活動、防災、生涯学習・子ども関係、財源関係、その他）に照会した。  
また、「特に検討して欲しいと思うこと」も自由記述で照会した。
6. 回答方法 事務局からExcel様式を送付し、メールで回答
7. 調査結果 以下のとおり  
※読みやすくするため、文言を一部修正した部分がある。  
※一部で重複回答を割愛した部分があるが（書面表決）、基本的にはそのまま掲載した。

=====

- 調査結果 -

① 会議関係

～これまで・現在～	～今後予定・工夫したいこと～
<p>■ 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 書面表決（24地域）</li> <li>● 分散開催（1地域）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員会を2回に分けて実施。</li> </ul> </li> <li>● 広い会場で開催（1地域）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場が3密を回避できるホール（小体育館）で開催できる環境がある。</li> </ul> </li> <li>● 短時間開催等（2地域）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会は短時間で会議のみ行った。</li> <li>・総会などは、例年より数を減らしている。</li> </ul> </li> <li>● 役員会で対応（2地域）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月の定期総会は中止。密を避けた役員会で議案を審議、承認議決。</li> </ul> </li> </ul> <p>■ 役員会・部会等の会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会：書類審議（5部会中、3部会）。</li> <li>・大人数での会議は中止。</li> <li>・会議は概ね定員の50%で開催。</li> <li>・会議の前段で手指消毒、検温、マスクの着用をチェック。</li> <li>・会議終了後の机、イスの消毒。</li> <li>・可能な限り、換気を徹底。</li> <li>・会議は短時間（概ね1時間以内）を目安に開催。</li> <li>・飲食を伴う会議は基本しない。</li> <li>・役員会等は、重大な案件がない限り書面により報告周知している。</li> <li>・役員会・理事会は文書決裁で行った（4月、5月）。</li> <li>・執行部会のみ行い、役員には文書連絡で行っている（6月～）。</li> <li>・会議は、3密対策を徹底し、短時間で終えるようにしている。</li> <li>・役員会は3回実施。</li> <li>・運営委員会（総務部会）は、月次で開催している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況をみながらできるものはする。</li> <li>・会場の配置</li> <li>・地区民対象の大規模イベント。</li> <li>・SNSを活用した周知。</li> <li>・部会と課外活動・奉仕作業等を同時に行い、少ない回数で行う。</li> <li>・振興会で3地区内同時に行う活動を各自治会での集会等を利用して分散して行い、蜜を避ける。</li> <li>・来年度の総会（評議員会）は、コロナの状況にもよるが、分散開会も検討する。</li> <li>・直接会議ができる環境を作りたい。</li> <li>・アクリル板の設置。</li> <li>・飛沫防止アクリルパーテーションの設置。</li> <li>・フェイスガードの準備。</li> <li>・終息するまでは同じ。</li> <li>・マスク着用、手消毒、検温、密にならない人数での開催。</li> <li>・顔の見えない会議は、真意が伝わらない。</li> <li>・3密を避けながら開催していく方向。</li> <li>・アクリルパーテーションを購入した。人数の関係で十分な距離がとりにくい場合に使用している。</li> <li>・会議を短時間で。</li> <li>・従来方式の継続（1テーブル1人、マスク着用）。</li> <li>・運営委員会をリモートでできないか検討中。</li> <li>・資料の事前配布による会議時間の短縮。</li> <li>・会に出席する人数を減らすため等、組織の見直しを行う。</li> <li>・施設内WiFi設備。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「一斉部会」を部毎に分散して実施。当面の活動等を確認し、短時間で終了。</li> <li>・企業チャレンジ（みずほ）との協議をオンライン会議とした。</li> <li>・役員会5月は書面評決（四役会で決定した事項）。</li> <li>・毎月の定例役員会（9名）は1回削減し、隔月開催の理事会（16名）は、ホールで間隔を取り開会した。</li> <li>・役員会は3密を避け、広いホールで開催。</li> <li>・各種会議は出席者数を考慮し、3密を避け、会場を選定し開催。</li> <li>・役員会は3密対応で実施。</li> <li>・3密を避ける、人数制限、マスク、手洗い、消毒、換気、検温。</li> <li>・会場が3密を回避できるホール（小体育館）で開催できる環境がある。</li> <li>・人数の少ない役員会等は、間を空けて飲食なしで開催。</li> <li>・役員会、マスク着用、手消毒、検温。</li> <li>・事業計画に挙げている、研修等はディスタンス・除菌をしながら行っている。</li> <li>・3密にならないように会議を広く使用。</li> <li>・3密の回避（テーブルを離す、2人掛けにする、冬になっても大きい部屋を使う、暖房をつけても常に換気をする、サーキュレーターの使用、全員マスク着用）。</li> <li>・入り口に消毒液設置。</li> <li>・忘れた人用のマスクの用意。</li> <li>・役員会（総会前に開催）…1テーブル1人、マスク着用。</li> <li>・会場を広い所に変更し、1テーブル1人で毎月開催継続（運営委員会）。</li> <li>・少人数、短時間での会議とその際の各種感染防止対策。</li> <li>・短時間で終了するようにする。</li> <li>・会議の回数を減らす。</li> <li>・会議の3密を避ける。</li> </ul>	
--	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議内容の精選をする。</li> <li>・机1台に1名着席</li> </ul>	
<p><b>【懸案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施が見通せない。</li> <li>・懇親の場が持てない。</li> <li>・会場の確保が制限される。</li> <li>・地区民が多数集まる会議は対策が確実に徹底できないためできていない。</li> <li>・地区民全体の<u>コミュニケーションの場が不足</u>。</li> <li>・交流を深める恒例の飲食会議ができない。</li> <li>・<u>飲食を伴う会議が出来ない</u>。</li> <li>・一方通行の会議なので、表情が見えないため、コミュニケーションが取りづらくなる懸念がある。</li> <li>・中止が多いため、<u>検討不足</u>。</li> <li>・先の見えない中での活動で、身近な所で出来る事は沢山あると思うが、その情報を得る機会が少なくなり、要望を聞いて生かす事が出来ない事を懸念している。 (一方方向の情報発信で着信が無く手応えが掴めない)</li> <li>・会議は広い会場に変更しておこなっているので音響関係の整備。</li> <li>・40人規模を超える会議等の開催が難しいこと(大規模な部屋が無い)。</li> <li>・<u>文書だけでの連絡だと徹底しない</u>。</li> <li>・飲食を伴う会合が、安心して出来ない。</li> <li>・祭りや運動会がなく、自治会長さんと意見交換をする機会が減った。</li> <li>・女性部研修を大田のあすてらすで開催される講演会に行く予定だったが、コロナの為、中止になり延期中。</li> <li>・総会等多人数での会合が議案によっては必要となる。</li> <li>・会議内容が地域へ確実に周知できているか懸念している。</li> </ul>	

## ② 広報・情報発信

～これまで・現在～	～今後予定・工夫したいこと～
<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙面の充実。チャレンジサイトの投稿再開。</li> <li>・感染防止対策・注意についてかわこだよりで周知。</li> <li>・スポーツ大会開催時等には事前の感染防止対策、体調チェックの呼びかけを書面で徹底。</li> <li>・地域の様子が少しでもわかってもらえるよう、毎月振興会だよりを発行している。</li> <li>・『塩田ときどき新聞』を年6回・偶数月末日付で発行している。(120部)</li> <li>・『塩田交流センター月次予定表』を毎月末に作成し、全戸配布。(50部)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に広報誌で注意喚起を実施。</li> <li>・SNSを活用した周知。</li> <li>・<u>Instagram、ツイッター、ホームページ等を活用</u>。</li> <li>・『塩田地区振興会』のHPを立ち上げて活動内容を写真ベースで紹介するように準備をしている。</li> <li>・併せて、<u>スマホ操作勉強会を開催し</u>、HPの見方や、簡単操作を学ぶ活動を実施したいと計画している。</li> <li>・ホームページ等充実による外部への発信・PR。</li> <li>・コロナ対応ではないが、「来てごしない日登プロジェクト」でHPを見直し</li> </ul>



<ul style="list-style-type: none"> <li>・月次の行事カレンダーに併せ、各活動の開催案内文書を配布・(50部)</li> <li>・コロナに関する情報の発信(住民にわかりやすいように工夫) &lt;広報、管内掲示など&gt;。</li> <li>・通常通り定期発行、配信</li> <li>・情報発信する内容が、これまでと比較し減少しているが、小さな内容も発信できる。</li> <li>・コロナ感染予防の周知。</li> <li>・中止などのお知らせは丁寧に。</li> <li>・広報(やまさと)で全戸へ、各委員会や担当へは直接通知等。</li> <li>・事業中止の為に発行回数減。</li> <li>・広報紙、自治会文書回覧などによる広報。</li> <li>・コロナ禍で貸館に制限があることなどを伝えた。</li> <li>・通常通り。</li> <li>・広報誌は年5回発行しているが、事業が少ないため、内容に乏しい。<u>4コマ漫画を入れたり、間違い探しを入れたり、普段お知らせできないこと載せたりしています。</u></li> <li>・広報での情報発信。</li> <li>・コロナ禍における交流センターの利用上の注意を掲載(入館時の手の消毒とマスク着用のお願、行事の時は3密を避けることへの理解等)。</li> <li>・中止するイベントは、広報誌や告知放送で住民への周知を図る。</li> <li>・雲南市役所健康推進課通知の新型コロナウイルス感染拡大防止啓発資料の広報誌への掲載、交流センター入口に掲示。</li> <li>・行事がなくなったため、広報に載せる内容がなくなったので、<u>なるべく明るい地域</u>の話題を探してのせた。</li> <li>・コロナ感染予防に関する啓発内容の記事を記載する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>し、より充実した内容で移住者の受け入れを促進する。</li> <li>・毎年行っている収穫感謝フェスタを中止にした。何も無いのは寂しいので、文化部門(書、写真、手芸等)の展示や農産物を持った生産者さんの写真を撮影し、それも展示したミニ収穫展示祭を実施した。(密にならないよう1週間展示し随時見てもらうようにした)その時の様子を広報誌の号外に掲載し、年末に観てもらうようにする。</li> <li>・広報での情報発信。</li> <li>・<u>雲南病院医師による健康に関する記事の広報紙掲載。</u></li> <li>・<u>地域出身者にも広報をおくりたい。</u></li> <li>・県・市等のコロナ感染予防に関する啓発記事を継続的に掲載する。</li> </ul>
<p><b>【懸案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>広報する記事や話題が少ない。</u></li> </ul>	

- ・今後、この広報活動を進める手順と方法は準備しているが、令和2年度中に道筋をつけられるかどうか？出来るところまでやってみて、次年度に運用出来るように取り組む。
- ・会議等が出来ない。
- ・地域行事の中止により、地域の方々に興味・関心を持っていただける内容になっているか心配している。

### ③ オンラインの活用

～これまで・現在～	～今後予定・工夫したいこと～
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市とのオンライン会議。</li> <li>・市役所・総合センターから実施方について指導を頂いた。</li> <li>・協議会独自でのオンライン活用研修は実施していない。</li> <li>・学生との打合せに Zoom を活用している。</li> <li>・できるだけ参加するよう努力している。</li> <li>・各種 Zoom セミナーや、雲南広域連合が開催する、グーグルミート等に参加して、操作等の習得をする。</li> <li>・「コロナ禍における小規模多機能自治勉強会の録画」Vimeo の視聴での活用等機会を生かしている。</li> <li>・研修会などでオンライン可能なものについては利用。</li> <li>・会独自では、行っていない。</li> <li>・行政側からの発信、活用には参加。当方側からの活用発信なし。</li> <li>・市主催のオンライン会議には積極的に参加している。</li> <li>・積極的に参加した。</li> <li>・雲南市企画課等との Zoom 会議のみ。</li> <li>・何度か Zoom 活用による研修に参加した。</li> <li>・あまり利用しない。</li> <li>・Zoom を使った U. C. C とのプロジェクトを実施した。</li> <li>・オンラインを活用した研修等を行ったかどうかということだと思いますが、今のところそれはありません。</li> <li>・Zoom 会議。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の多種多様な会議等において、オンライン活用を行うこととなると考えられるので、それ用のパソコンを常備できればと考えている。</li> <li>・地区での実施は無理？</li> <li>・『冬季の活動を考える』情報交換会みたいな事を、複数地区の似通った環境の交流センター間で行ってみたい。</li> <li>・除雪対応・独自の活動状況と『集落支援活動』の取り組み等。</li> <li>・未定。</li> <li>・今後、<u>町単位でオンライン会議等</u>ができるような環境を構築したい。</li> <li>・当分、オンラインによる機会が増してくると思われるので、今後も積極的に参加し活用を図っていきたい。</li> <li>・<u>県外にいる地元出身の若者たちと Zoom 会議を計画している。</u></li> <li>・広報での情報発信。</li> <li>・積極的に活用。</li> <li>・市役所からの各種 Zoom 会議への参加。</li> <li>・運営委員会をリモートでできないか検討中。</li> <li>・継続して Zoom 会議に参加して、Zoom 会議の良い点を経験する。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインが活用できるようカメラ付きのパソコンを購入。声が聞こえにくかったため、スピーカーも購入した。</li> <li>・市役所からの各種 Zoom 会議への参加。</li> <li>・研修会等オンライン参加ができるものは、オンラインで参加。</li> <li>・一部参加。</li> <li>・Zoom 会議の良い点を知るために、市内の会議等へ積極的に参加する。</li> </ul>	
<p><b>【懸案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リモート会議にまだなじめない。</li> <li>・令和3年1月下旬頃を目途に、状況を見ながらやってみたいが。</li> <li>・気軽にオンラインが活用できれば、会議等の多様化が図れる。</li> <li>・出かけなくても会議に参加できるのは便利で安心だが、意思の疎通は図りにくくなってきた。</li> <li>・コロナ終息時に Zoom 会議の使用状況がどのようになっているのか懸念している。</li> </ul>	

#### ④ 施設利用

<p style="text-align: center;">～これまで・現在～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区民を対象とした大規模イベントについて今までは1日で実施していたものを3～5日間の長期に開催し密集を避けるイベントとして分散して開催(11/17～22)。</li> <li>・使用にあたっての人数制限。</li> <li>・収容人数の上限を設けた。</li> <li>・出来るだけ机は使用せず、間隔を空ける。</li> <li>・必ず換気を行うよう義務付け。</li> <li>・交流センターの網戸を全室に取り付け。</li> <li>・自転車競技の施設利用依頼があったが、外の水回りに限定し、施設内立ち入り禁止とし、トイレ利用は、隣接の旧体育館入口トイレの利用とした。</li> <li>・施設利用者名簿は、定期的な利用団体については、こちらで参加者名簿を作成し、チェックしやすくした。</li> <li>・多数者参加の場合、内容等を考慮し会場の変更等を要請。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">～今後予定・工夫したいこと～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もこれまでのパターンを考慮し開催を考える。</li> <li>・1時間ごとに換気。</li> <li>・地域内利用がほぼ100%なので、特記事項は無いが、冬場の暖房・換気に広いスペースを、基本料金で利用して貰えるようにしたい。</li> <li>・正月用『生花教室』を、地域全戸に案内する。(振興会主導で開催する)</li> <li>・終息するまでは同じ。</li> <li>・換気。</li> <li>・施設内 WiFi 設備</li> <li>・当分の間は密を避けるため、現状のやり方を継続する。</li> <li>・小規模利用。</li> <li>・トイレの洗面の水道の蛇口、自動水栓へ変更を検討中。</li> <li>・トイレに人感センサーライト設置を検討中。</li> </ul>
--	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時期、県外者の利用申込を遠慮いただいたこともあった。</li> <li>・貸館を行っていない（新市）。</li> <li>・消毒液を各部屋に配置。</li> <li>・部屋を利用後は、利用者にテーブルなど消毒してもらった。</li> <li>・部屋により人数制限を行い、飲食を禁止した。</li> <li>・飲食、カラオケなどを伴う会合は禁止。</li> <li>・人数が多い場合は、2回に分けて実施。</li> <li>・不特定多数の地区外の参加者が見込まれる催しは、感染者対応のため、名前の記帳をお願いした。</li> <li>・会館の利用基本規則の周知。</li> <li>・手指自動消毒器の配置。</li> <li>・施設使用後の主事による消毒。</li> <li>・ソーシャルディスタンスのためワンサイズ大きめの部屋の貸出。</li> <li>・換気。</li> <li>・アクリルパーテーションを購入した。人数の関係で十分な距離がとりにくい場合に使用している。</li> <li>・施設来館者名簿作成（氏名・住所・電話・検温・体調等記入）。</li> <li>・不特定多数の施設利用は不可。</li> <li>・職員による、施設使用前・使用後の消毒。</li> <li>・会議は人数に応じて(20人未満は)会議室、(20人以上は)ホールを使用している。今年は10人以上は全てホールで開催してもらおうようにしている。</li> <li>・上記の会議関係と同様の配慮をしている。</li> <li>・冬場は頻繁に換気が必要。</li> <li>・貸館も1テーブル1人になるよう大きめの部屋を利用させていただく。</li> <li>・トイレにペーパータオルを設置。</li> <li>・トイレ、常時、換気扇をまわす。</li> <li>・トイレ、常時点灯（スイッチに触れる回数を減らす）。</li> <li>・利用後の部屋の通風換気。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更に安全な宿泊・食事が提供できるように、左記の内容の継続・徹底をする。</li> </ul>
--	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3密を避けるため、倍以上の部屋利用に変更してもらっている。</li> <li>・ 葬儀はセンター内は親族のみで密をさけている。</li> <li>・ 部屋の利用人数、食事間隔等、宿泊時の生活の3密を避ける取組をする。</li> <li>・ 限られた予算の中でコロナ感染予防をするため、パーティーションを手づくりで作成するなど、予算の有効活用に取り組む。</li> </ul>	
<p><b>【懸案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種部会・サロン活動・クラブ活動をしたいが、計画が立てづらい。</li> <li>・ 利用客の減少。</li> <li>・ 施設使用料の減収によるセンターの維持管理が困難（市から補助を受けて維持出来る見込み）。</li> <li>・ 禁止に対する不満がある。</li> <li>・ 地域の人を多く集めイベントを開催すること。</li> <li>・ 換気に伴う冷暖房の調整。</li> <li>・ 3密になるという理由で、小さい部屋から大きな部屋に変更して、使用者の使用料が増す。</li> <li>・ 区画ごと（部屋ごと）の利用上限人数の設定（目安）。</li> <li>・ コロナ感染者情報が宿泊者数に影響すること。</li> <li>・ コロナ感染予防に必要な財源の確保が難しい。</li> </ul>	

## ⑤ 地域福祉活動

～これまで・現在～	～今後予定・工夫したいこと～
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配食事業で利用者の行動がどうしても制限されるコロナ禍で、塗り絵、色えんぴつを配布した。</li> <li>・ 推進員作成の手作りマスクを利用者ボランティアへ配布。</li> <li>・ 非接触型体温計の貸し出し。</li> <li>・ 対象人数を減らして開催。</li> <li>・ 訪問による活動。</li> <li>・ サロン会員へのマスク配布。</li> <li>・ 見守り活動時には当人との距離をおいて対応（ソーシャルディスタンス）。</li> <li>・ サロン実施時の感染予防について代表者を通じ周知している。</li> <li>・ 高齢者見守り活動・配食での見守りは変わりなく行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者交流会を時間短縮し実施することにした。</li> <li>・ 中止することばかりがよい訳ではないから、参加人数をこれまでより縮小してでも実施可能なら実施したい。</li> <li>・ サロンへの人材派遣。</li> <li>・ 30名以上集まっていた交流会・講演会は2回に分け縮小して実施した。</li> <li>・ 現行のままでいくつもり。</li> <li>・ 単身高齢者節分蕎麦は実施（2/3）。</li> <li>・ うんなん幸雲体操は実施（8/26～、毎週木曜日9時～）。</li> <li>・ 冬場の手子活動や除雪時にもこの運動を展開する。</li> <li>・ 交流センターを通じて、積極的な利用／相談を促す活動。（チラシ配布）</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン・体操については、休止期間はあったが再開している。自治会へマスク・消毒液を配布した。</li> <li>・3密を避ける。</li> <li>・窓等を開け換気をする。</li> <li>・新聞配達員の見守り実施。</li> <li>・地域福祉部活動の重点である、見守り活動を、配食サービスや配りものや手子活動を通じて随時行う、『ついでに声掛け』運動を行っている。</li> <li>・各サロンへはコロナ禍での注意書きや手指消毒液の配布。</li> <li>・一人暮らし高齢者への電話訪問、手作り布マスクの配布、子どもからの暑中見舞いはがきの送付。</li> <li>・幸雲体操は自宅でもできるように重りの自己管理をしてもらった。</li> <li>・昨年まで、交流センターで開催していたサロン活動を3グループに分散（一部会場も分散）して開催している。</li> <li>・「長寿者をお祝いする会」祝賀会を中止し、祝品を自宅へお届けした。</li> <li>・コロナ禍で、こもりがちな高齢者の自宅訪問、生活状況を確認。</li> <li>・オートデスペンサーの自治会配置。</li> <li>・「長寿を祝う会」は中止とし該当者への記念品配布と見守りを実施。</li> <li>・幸雲体操は3密を避け、昼・夜の2回に分けて実施している。</li> <li>・高齢者が多い分野なので、自粛要請を冷静に指導する。</li> <li>・規模を縮小して開催した。</li> <li>・飛沫防止ボードを設置して、食事をしていただいた。</li> <li>・独り暮らし家庭の定期的な見守りと併せて家で楽しめる物の配布。</li> <li>・サロンへの消毒薬関係の手配協力。</li> <li>・福祉イベントの中止のため、その費用を充てた他の取組み。</li> <li>・マスク着用、手消毒、飲食なし。</li> <li>・見守り（配食、移動購買車）継続実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記、振興会主導での活動や機会を作る活動を行う事。</li> <li>・今年度の方法の継続。</li> <li>・体操は、午前、午後に分け人数制限をしながら活動を展開する。</li> <li>・自治会のサロンは平常の活動を実施しているが、密が心配。</li> <li>・健康づくり、体力づくりのために健康教室やくまたん体操、幸雲体操などは継続していきたい。</li> <li>・フェイスガード等する。使用した方が良い場合は配付する。</li> <li>・敬老会は分散開催等工夫していきたい。</li> <li>・終息するまでは同じ。</li> <li>・婦人会からフェイスガードを寄贈して頂いて活用・予防に役立てた。</li> <li>・コロナ対策を万全にして開催した。参加の皆さんは、元気をもらったと喜ばれとても笑顔で開催した意義を感じたので、ポジティブにとらえたい。</li> <li>・文書等持参で短時間、少人数での訪問見守り。</li> <li>・高齢単身世帯の交流会を小規模開催。</li> <li>・コロナ禍により見守りや交流が減っている高齢者に対する支援（ケアマネへの仲介等）。</li> <li>・感染対策研修会で学んだ内容を地域住民へ周知する。</li> <li>・出かける機会が減少した地区での体操等の小規模開催。</li> <li>・工夫しながらの実施（消毒・検温・3密をさける）。</li> <li>・今後も大人数のサロンは実施できにくいので、巡回を多くして情報提供等に併せ、見守り活動をしていく。</li> <li>・小規模での開催。</li> <li>【サロン関係】</li> <li>・コロナ禍の中、運動不足等、健康管理が心配、持ち運びができる血圧計購入を考えている。</li> <li>【その他】</li> <li>コロナ禍で外出しにくいので…</li> </ul>
--	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年開催している「一人暮らし高齢者交流会」を取りやめ、各戸訪問に変更した。</li> <li>・各サロンに「通いの場を開催するための留意点」という厚労省のチラシと、非接触体温計、手指消毒のスプレーを配布した。</li> <li>・粟原分室で行っていた『ちょんてごカフェ』は分室が狭い為、交流センター集会室で開催している。持ち寄りおかずの昼食は中止している。</li> <li>・自治会福祉員研修会は、コロナの為延期になったが、再度計画し行った。</li> <li>・独居高齢者さん・ボランティア研修会も行った（参加された方より…出かけることが少なくなっていたので喜んだ）。</li> <li>・どの研修もマスク着用・検温・手指消毒を徹底した。</li> <li>・ふれあいいいききサロンへの消毒・マスク配布。</li> <li>・高齢単身世帯への感染症対策グッズ配布。</li> <li>・後期高齢者への生活不活発症実態調査。</li> <li>・福祉部会の分散開催。</li> <li>・サロン参加者への感染対策研修会の実施。</li> <li>・子育てサロンでのマスクづくり。</li> <li>・サロン活動（コロナ対策用のグッズを用意）。</li> <li>・全体のサロンから自治会別のサロンにし、少人数で実施。</li> <li>・一人暮らし高齢者（高齢者のみの世帯も）の見守り巡回の回数を増やした。</li> <li>・携帯用消毒ジェルを全戸配布。</li> <li>・サロン参加者にマスク配布。</li> <li>【サロン関係】</li> <li>・クロスワードや間違い探しのクイズを郵送で送り、返信があった方に後日、粗品をもって訪問し対話実施。</li> <li>・地域福祉部で制作した「認知症対応マニュアル DVD 視聴、あわせて雲南市立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AI スピーカー購入（交流センターと一人高齢者世帯、昼間一人世帯と接続試験運用）。</li> <li>・困りごとアンケート。</li> <li>・お出かけ買い物バス試験運行。</li> <li>・今年度の福祉祭り代替え事業。</li> <li>・ボランティア活動等、高齢者宅への訪問を継続的に行う。</li> </ul>
--	--

<p>病院医師、研修生、保健師さんをお招きして「なんでも相談会」を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で不安なこと等相談する場をもうけた。</li> <li>・コロナ禍で運動不足になりがちなので、振興協議会でノルディックステックを購入し、ウォーキングをした。</li> <li>・サロン日に、天気がよければ、外に机、いすを持ち出し青空サロン開催。</li> </ul> <p><b>【65歳以上の方対象】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉交流会（敬老大会）中止の為、対象の方がおられる家庭へマスク配布のため訪問。</li> <li>・マスクは配布時、デマンドバス利用方法の説明、困りごと相談。</li> <li>・雲南市立病院からの健康状態把握アンケートへの協力（郵送、回収のみ）。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治会サロンに手指消毒液を配布。</li> <li>・コロナ情報チラシを配布。</li> <li>・医師を招いて高齢者に正しいコロナ情報を伝えてもらう。</li> <li>・高齢者の要望があり例年行っている福祉まつりを開催した。</li> <li>・自治会単位で2回に分け、分散開催した。（3密解消のため）。</li> <li>・一人暮らし宅へマスク、消毒薬配布。</li> <li>・サロン活動に雲南病院医師との懇談会を取り入れた。</li> <li>・認知症講座の代替え活動。</li> <li>・数を減らして実施。</li> <li>・家から出にくい方への訪問・電話等を積極的に行う。</li> <li>・予定した福祉活動をコロナ感染状況を踏まえて、内容を変更しながら実施する。</li> </ul>	
<p><b>【懸案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を一同に集め、食事をする機会が作れない。</li> <li>・研修会の計画はしているが、今後のコロナ感染状況で、実施できるのかどうか。</li> <li>・サロンの実施を中止している自治会の意欲低下。</li> <li>・感染の不安から自治会のサロンが実施されていない実態がある（21自治会中9自治会で開催されていない）。</li> </ul>	



- ・高齢者は一緒に食事やおしゃべりをすることを楽しみにしておられる、そのやり方を考えないといけない。
- ・コミュニケーションが取りづらくなる懸念がある。
- ・高齢者の引きこもり。
- ・各種部会・サロン活動・クラブ活動をしたいが、計画が立てづらい。
- ・高齢者さん対象の事業のあり方（コロナ感染のリスクと引きこもりのリスク）。
- ・分散開催したことにより、他グループ住民通しの交流ができなくなっている。
- ・「茶のん場えびす喫茶コーナー」は飲食なしで、月1回イベントのみで実施している。今後は検討中。
- ・自治会の集会所での多くの活動の開催が密の観点から難しい。
- ・コロナ感染拡大により見守りが十分とはいえない。
- ・高齢者の中には、自粛に対しての反発が多い。
- ・閉じこもり状態でストレスによる支障が心配である。
- ・個人の行動が自粛されているため、独居者の安否確認が十分でない。基本、生活の様子を目にすることが少なくなった。
- ・一堂に集めてのイベントが出来ない。
- ・地域或いは自治会単位の「サロン活動」の開催。
- ・幸雲体操で、コロナをきっかけに中止となり、その後再開されないままのグループがある。
- ・サロンの開催是非について、感染状況が流動的なため判断が難しい。
- ・今後のサロンをどうするか？
- ・福祉まつり。
- ・講演会等の開催。
- ・行事等が行われないため、身体の様子や生活状況が分かりにくい。

⑥ 防災

～これまで・現在～	～今後予定・工夫したいこと～
<ul style="list-style-type: none"> <li>・手指消毒用の消毒液の備蓄。</li> <li>・地区内全自治会へ手指消毒スプレーの配布実施。</li> <li>・多数の住民参加による訓練は今年度は中止した。</li> <li>・自主避難場所への避難は少人数にし、<u>安否確認・情報伝達訓練</u>を主に行った。</li> <li>・11月29日（日）に、福祉・人権研修と防災・防火訓練を同時に開催した。</li> <li>・避難所運営と備品整備は、令和3年2月に予定。</li> <li>・防災リーフレットを作成し全戸に配布した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所用感染防止用テントや仕切りの準備。</li> <li>・避難所用マスクや消毒液の準備。</li> <li>・自治会単位等小規模での研修・訓練の実施。今一度住民一人一人の防災意識を高める「アンケート」の実施。</li> <li>・各班ごとの関連講習会を実施し、訓練自身は少人数とするよう検討中。</li> <li>・AED講習会は実施の方向。</li> <li>・備品については、年度末に会計状況をみて判断。</li> <li>・備品：発電機と電気を使わない灯油ストーブの備えが本年度内での課題なので、年度内で予算等も併せて勘案し購入したい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練は全地域で開催していたが、今年度は2自治会に限定し、交流センターを避難場所とした訓練を実施した。</li> <li>・避難訓練の実施に課題があり、自主避難・個別避難など検討している。</li> <li>・電話による自治会内の情報伝達訓練を実施した。</li> <li>・コロナ禍の中で、一時避難所の見直し。</li> <li>・防災備蓄品の拡充。</li> <li>・集まる機会を持たない。</li> <li>・必要がない。</li> <li>・未実施。</li> <li>・備品にマスク、消毒を購入した。</li> <li>・雲南市より備品を受けた（フェイスシールド・体温計・アルコール消毒等）。</li> <li>・今年度は7月上旬に神代地区・六重地区(約70戸)を対象に情報伝達訓練と一時避難所への避難訓練を実施する予定にしていた。実施時期を10月18日に延期、情報伝達訓練のみ実施、避難訓練は避難所での3密を避けるため、自宅待機方式として実施した。</li> <li>・今後取組。</li> <li>・電源立地地域対策交付金の防災備品の内容を今年度はコロナ禍に係る備品を整備（3密を避けるためのマルチルーム等）。</li> <li>・防災備品の購入。</li> <li>・クイックパーテーション購入（災害時すばやく組み立てられるワンタッチ間仕切り）。</li> <li>・広い空間における個室空間の確保。</li> <li>・指定避難所運営マニュアルのコロナ版作成。</li> <li>・交流センターへみんなが集まる訓練は中止にし、各自治会で安否確認を行ってもらった。</li> <li>・避難所運営マニュアルの作成をする。</li> <li>・避難訓練のかわりに、災害時の昼間の人数・要支援者人数等の調査を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3密回避（会場、人数）。</li> <li>・来年度も自治会を分散した訓練を実施予定。</li> <li>・11月29日「防災避難訓練」密を避けるため、避難情報伝達訓練を計画。人の移動を制限した。</li> <li>・安否確認に重点を置いている。</li> <li>・自主避難、個別避難など個々の家庭で災害への対応を話し合う場を設ける。</li> <li>・自治会ごとに避難所の見直しをし、結果を集約。</li> <li>・集まらなくてもできた、一時避難所マップの見直し（分散避難の推進）をこの時期に考えてもらう。</li> <li>・防災物資・備品の検討とその置き場所の確保。</li> <li>・避難所運営の仕方について。</li> <li>・工夫しながらの実施（消毒・検温・3密をさける）。</li> <li>・防災いきいきサロンを今後実施するが、3密を避ける工夫をする。</li> <li>・避難場所を複数つくる。</li> <li>・防災研修会開催。</li> <li>・防災備品組み立て研修。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止を考えた避難所開設訓練。</li> <li>・「ウイルス感染回避した避難所運営のあり方」を目指した訓練。</li> <li>・避難訓練をとおして避難所マニュアルの見直しをする。</li> </ul>
--	---

### 【懸案】

- ・交流センターが指定避難所になった場合のコロナ禍対策を早急に進める必要がある。
- ・多数の住民参加による訓練の実施が出来ない。
- ・避難所運営は、当交流センターの規模と現状体制では難しい面も多々あるし、実際の行動が伴わないと思う。
- ・コロナ禍でのシミュレーションが出来るようなら、当交流センターの規模や状況に対応したモデルプランが欲しい。
- ・研修会、設立総会の開催。
- ・避難場所での対応、収容人数の問題など。
- ・避難所運営の課題を整理したい。
- ・防災備品の確保（パーテーション等）。
- ・防災研修等を実施するうえで、多人数での集会・行動することが出来ないのが難しい。
- ・見直しをしても、避難所の不足という課題は残る。
- ・全体の避難訓練。
- ・避難者が熱等の異常があった場合、どこへ避難してもらうか、どう隔離するか。
- ・総合防災訓練の実施。
- ・避難所運営マニュアル（新規作成）の検証を目指した訓練。
- ・避難所として、備品購入のための財源が無いこと。

## ⑦ 生涯学習・子ども関係

～これまで・現在～	～今後予定・工夫したいこと～
<ul style="list-style-type: none"><li>・キャンプや祭りなどは中止。中止の場合の学校を通じての資料配布。</li><li>・コロナ感染症対策を徹底し実施している。</li><li>・参加人数を制限しながら事業開催。</li><li>・例年夏休み前に実施している通学合宿は実施できなかった。料理教室は、多数による調理飲食は負荷であり実施していない。協議会のたよりにレシピを掲載した。</li><li>・子育てサロンについて、玩具を使わない遊びを考えている。</li><li>・いきいき教室は実施（月曜は交流センター、水曜は学校）。</li><li>・塩田地区独自の活動はほぼ中止となったが、『塩太鼓』活動等は、広い体育館で行っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・現状では従来の取り組みを継続する。</li><li>・参加人数を少なめて手芸教室を実施した。今後、フラワーアレンジメント教室の開催を予定している。</li><li>・玩具を使わない遊びを考えてく予定。</li><li>・ものづくり教室や学び・体験のカリキュラム化を行い、科目を増やして、高齢者・女性学級・子供の学び体験に生かしてゆきたい。（手作りパン・お菓子・クッキー作り／キーホルダーお守り作り・ミニ盆栽等）</li><li>・その場での飲食は取りやめ。</li><li>・「ものづくり」講座の実施を検討。</li><li>・テントでの宿泊体験はなかなか難しいが、サンレイク等の施設利用での活動を検討。</li><li>・クリスマス会は、「だれでも参加できるクリスマス会」から地域限定の事業に変更。</li></ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏場のキャンプ学習の代わりに、『ミニミニたたら製鉄体験学習』のカリキュラムを準備し、1月ー2月に行う。</li> <li>・大人の体験活動は現在中止。</li> <li>・子どもの体験活動（学校との連携事業として居場所や放課後対策事業の中に体験活動を入れている）。</li> <li>・高齢者サロンと連携し体験活動を取り入れた。</li> <li>・「子どもの部屋」について、小学校より感染症対策に関する書類をもらい、対策をおこなっている。</li> <li>・子どもの体験活動（宿泊体験・七夕祭り・クリスマス等）がほとんど実施できなかった。</li> <li>・子どもを中心とした事業はほとんどが飲食を伴うので中止した。ただしクリスマス会においては参加者を限定し、飲食は行わないこととした。</li> <li>・うたの会はマウスシールドを配布し、月から行った。</li> <li>・今年はふれあい文化展とし、4日間作品展のみ行った。入館した際の動線を矢印で示して、密にならないようにした。コロナ川柳を実施した。</li> <li>・居場所のコロナ対策・3密が避けられない事業は中止、飲食が伴うことは中止（料理教室等も）。</li> <li>・小学校学習発表会で学校側が入場制限を掛けられた中、交流センターでパブリックビューイングを地域が開催した。</li> <li>・放課後居場所活動で児童の3密を回避する工夫をしている。</li> <li>・放課後子ども教室での飲食関係行事の中止。</li> <li>・人権学習会は密を避けて、一堂に会することなく、人権の花運動や小学校児童の人権言葉・絵カードなどの配布を通して考える場の設定を行った。</li> <li>・短時間での開催。飲食は行なわず持ち帰りの実施。</li> <li>・飲食を伴うものはすべて中止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに関わる事業は飲食を伴うことが多いので、事業の見直しの機会としていきたい。</li> <li>・下熊谷は子どもが多いので、密を避け複数回に分けて実施するなど考えていきたい。</li> <li>・ふれあい文化展においても、同じく事業の見直しの機会とする。</li> <li>・そば打ち等実地研修はするが、試食会等は中止。</li> <li>・密にならないよう、参加者同士の席を離して行なう。</li> <li>・ジオラマづくりを行う予定。</li> <li>・夏休みの体験活動がなくなったので、クリスマス会を開催予定。食事作りはやめ、市販のケーキを食べる予定でいる。</li> <li>・農業体験・自然体験ができる施設として更に充実を図る。</li> </ul>
---	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの子ども学習は中止した。</li> <li>・放課後子ども教室は児童・スタッフがマスク着用・検温・手指消毒しながら、通常通り行っている。</li> <li>・例年通りの室外教室・水辺の教室は時期を見ながら、コロナ対策をし行った。</li> <li>・夏休みに計画していた自然体験は中止。</li> <li>・夏休みの図書室開放は、LINEで保護者の方と日々情報交換しながら、参加の有無を確認。飲み物は各自で準備、マスク着用をお願い、体温測定、手指消毒、換気を徹底した。体育館での軽スポーツは、小学校に確認し、小学校の体育と同じように息苦しさがあればマスクは外しても良いこととした。</li> <li>・子どもの広場（部屋を分けて活用）。</li> <li>・キャリア教育政策課から指導があったように児童・スタッフとも、3密回避、手指消毒、マスク着用を徹底。</li> <li>・島根県で感染者が出るまでの休校期間中はセンターで居場所作りをしていた。</li> <li>・<u>なんでも中止にするのではなく、皆で考え対策を取りながら、子供たちに体験活動をした。</u></li> <li>・学校が休校中でも、春先から稲刈りなど農業体験活動できる田んぼを準備した。地域の方々の理解があったからこそできた。</li> </ul>	
<p><b>【懸案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで取り組んでいる野外体験事業や多世代交流事業を再開するタイミングが計れない。</li> <li>・一日研修などバスを利用してお出かけができない。</li> <li>・視察研修等に出かけられず、交流する機会が減っている。学校側が慎重になっていて、連携が取れにくい。</li> <li>・多数参加される研修等は中止している。</li> <li>・<u>通学合宿</u>での調理・宿泊が難しいため開催方法を検討する必要がある。</li> <li>・コミュニケーションが取りづらくなる懸念がある。</li> <li>・地元で採れた（採れた）食材を使ったジビエメニュー・カレーメニューを考えているが、どこまで出来るか、衛生面での検討も必要。（HACCPに沿った衛生管理の勉強会も必要）</li> </ul>	

- ・コロナ禍での各人の危機感に差異がある。
- ・自主組織主催の事業開催については慎重にならざるを得ない（それに対しての市職員の対応にばらつきがあり困る）。
- ・屋外での活動を重点的に検討していきたい。
- ・ふれあい文化祭においては、今後開催出来るかどうか？
- ・放課後等の子供たち、いくら配慮しても3密を避けることは難しい。
- ・今後の事業予定計画で講演会実施。
- ・通学合宿・自然塾について。
- ・いろいろな活動が中止になり、年齢、学年にあった体験ができていない。
- ・通学合宿、自然塾中止（共同生活はリスクも高く感染症対策も大変）。
- ・夏休み自主学习教室、講師の大学生が来れなくて中止、来年は開催できるか不安。
- ・キャンプも、市内での感染確認で中止、どの基準で開催実施するか検討中。
- ・突然の休校等で体験活動ができなくなった場合、どのように準備や片付けをすればよいか困る。

## ⑧ 財源関係

～これまで・現在～	～今後予定・工夫したいこと～
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度については年度当初に承認頂いている会費を徴収。</li> <li>・会費の扱いは変更なし。</li> <li>・会費 6,500 円/戸を 3 回に分けて徴収しているが、今年度は 3 期分 2,000 円/戸は徴収しないこととした。</li> <li>・自治会からの会費（1 戸年 6 千円）は、4 月～6 月に徴収済、自治会への活動助成金も支払い済。（このまま）</li> <li>・令和 4 年度から会費の徴収を予定していたが・・・令和 2 年、3 年の自治会長会にて理解を求め、その後実施予定だったが、自治会長会が開催できなかったの遅れる。</li> <li>・自主財源も減少傾向。</li> <li>・イベント型行事がほぼ中止となり、事業会費がほぼなくなった。</li> <li>・通年どおり会費は自治会へ請求納付。</li> <li>・コロナ関係資材を購入した。</li> <li>・振興事業費の柔軟な変更（中止した事業→防災備蓄品などに）。</li> <li>・年度事業計画を見直して、予定どおり執行できている。</li> <li>・自主財源の繰越。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は今年度の決算見込みを踏まえ、負担額減を検討。</li> <li>・会費の扱いは変更なし。</li> <li>・地域内 3 自治会と、3 月までに相談し（総務部会+会計担当）、活動・予算執行状況を話し合い、統一基準と考えを整理する事が必要と考えます。</li> <li>・次年度への繰越しに関しても、情報の共有化をしたい。</li> <li>・やり方を工夫し、開催できる内容に変更していく（中止ありきでは無く）。</li> <li>・自主財源の各戸負担金を、次年度は減額する方向。</li> <li>・コロナ禍といえども、地域の方の大切な会費、無駄に使用してはならない。</li> <li>・残予算については、次年度の会費決定段階で考慮する。</li> <li>・来年度の会費額の検討。</li> <li>・コロナ禍の中今年度は会費を徴収したが、来年度の会費徴収をどうするか検討中。</li> <li>・事業をしなかった場合の財源の確保、執行の扱いに困る。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・交付金残金による流用（備品購入）。</li> <li>・研修、敬老会、ふれあい交流会については負担金、ふるさと祭り農産物販売については、中止の為減。会費については平年並みに徴収。</li> <li>・自粛・中止が続く中、新事業の取り組み、予算について、監査委員の意見を聞いた。</li> <li>・通常通り。</li> <li>・会費は例年どおり 3,500 円/年・戸を予算計上した。6 月末までに全戸分納入いただいた。</li> <li>・会議の中止により、会場使用料やコピー・印刷代等の収入がかなり減少すると思われる。</li> <li>・予定した事業費の有効活用をする。</li> </ul>	
<p><b>【懸案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業ができていない状況ではあるが今年度の会費は返金しない。この状態が続くなら来年度の会費額をどうするのか要検討。</li> <li>・会費の減額についての要望も一部あるようだが、現在のところ変更は考えていない。将来的に世帯数の減少により収入減となる。</li> <li>・雲南市より、年度末予算執行に関する指針を示して頂きたい。</li> <li>・次年度持越し事業の運用。</li> <li>・備品（防災用品・福祉用品等）の支払いに関する予算補正／組み換え。</li> <li>・事業会費収入の大幅減。</li> <li>・コロナ禍で指定管理・使用料が減少。交付金の充当対策は歓迎できるが、どの程度までの影響か不透明。</li> <li>・事業の中止や変更で予算の執行ができない状況。</li> <li>・事業の中止や延期がかなり出ているが、会費の減額(返還)は考えていない。</li> <li>・行事をしない場合の補助金の扱い。</li> <li>・宿泊者・利用者の減による収入の減を他の事業でどのように補えばよいか困る。</li> </ul>	

## ⑨ その他

<p style="text-align: center;">～これまで・現在～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算管理（部会別予算）の組み換え。</li> <li>・自主財源に基づく事業の見直し。</li> <li>・『よいとこ祭り』事業中止による、独自の事業取組み（野菜作りの為の土づくり：堆肥の斡旋・料理調味料の斡旋）。</li> <li>・当初予定していなかったことをコロナ対策を十分とって、柔軟に対応した。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">～今後予定・工夫したいこと～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『健康づくり』に関連し、【減塩グッズ・調味料セット】を、健康推進課の協力を得て作成し地区内会員へ斡旋販売事業を行う（事業収益は無しで）。</li> <li>・併せて、お勧め書籍類の販売や、大東図書館のリスト化も出来たら良い。</li> <li>・<u>継続事業の点検と見直し、および廃止をする機会</u>としたい。</li> </ul>
--	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・密集での買い物が心配な方、自家用車などの交通手段を持たない方への買い物支援事業。</li> <li>・体操や手芸など、少人数で集まる機会を増やした。</li> <li>・いくつかの研修会も、バス借上料は、県の助成金を利用した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター来場者に対して、玄関で体温チェック出来る機器を用意する。</li> <li>・福祉用具の購入、施設小規模修繕。</li> <li>・コロナに関する知識向上。</li> <li>・動物駆逐用煙火保安講習開催（新規、更新）。コロナ禍の中でも鳥獣対策は関係ないので行うが、できる対策をしっかりして行う。</li> </ul>
<p><b>【懸案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館利用が難しい事もあり、ジャンル別『リスト化』による、書籍貸出の手伝いが交流センターで出来たら良いと思うが。</li> <li>・今年度より AED を設置したが、講習会ができていない（講師の方が県外からこられる為）。</li> <li>・すべての行事。</li> </ul>	

## ■コロナ禍における地域活動として、特に検討して欲しいと思うこと

- ・病気に罹っても嫌がらせ（誹謗・中傷）をしない意識付研修の実施、（※条例制定の働きかけ）。
- ・備蓄用マスクの配布。
- ・上記【コロナ過により懸案になっている事】の欄に、検討して頂きたい事項も記入したので、読み取って頂けるとありがたいです。（記入は、11月15日現在を基準日として作成して下さいとなっておりますが、作成日：11月30日現在にて記載しました）
- ・コロナ禍の中でかえって地域活動に住民の目が向いている（特に子どもの土曜日）。
- ・子どもや高齢者の地域活動ではサポーターが必要（特にコロナ禍ではリスクも伴う）。そのサポーターに対し、市政ではすぐにボランティアといわれるが、リスクもともなうことなので、ボランティアという言葉で逃げず、また地域に丸投げせず、実現可能な案を出してほしい。
- ・3密を避ける会場の確保、会食等を前提とした活動の実施について、実施可能な配慮事項を検討したい。
- ・コロナ感染拡大防止予防のため、マスク、フェースマスク、フェースガード、アクリルついたて等いろいろと出ているが、例えば歌を歌う、会議をする、体操をする等にあたって、どれが最善・有効なのか指針があれば参考にしたい。
- ・近隣組織の動向で同じような事業を中止したことが多々あった。いろいろ工夫してアイデアを出しても、委縮され、理解に苦労した。
- ・観光事業（農家レストラン）、特に瑞風対応を含め、行政と深い関係の中で運営をしているが、コロナ感染リスクと隣り合わせでスタッフは精神的なストレスを抱えながら不安な中で営業を続けている。
- ・食を伴うイベント開催はどうすべきでしょうか。
- ・本センターと穴見集会所へ避難時した時の、災害対応備品がそろっていない。



(会議の事前設計・様式例)

会議名:

企画書

会議の目的	
会議の性質	<input type="checkbox"/> 単発型 <input type="checkbox"/> 連続型 (期間: _____ ) <input type="checkbox"/> その他( _____ )
会議のゴール ※次第にも明記	
会議の種類	<input type="checkbox"/> 発散(意見出し) <input type="checkbox"/> 収束(まとめ) <input type="checkbox"/> 発散と収束 <input type="checkbox"/> 意思決定 <input type="checkbox"/> その他( _____ )
参集範囲	
想定人数	概ね _____ 名
開催期日	R 年 月 日( ) 時 分 ~ 時 分(予定) ※終了予定時間も設定し、次第への記載を推奨。
開催会場	
途中休憩・換気	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(____分ごとに____回) <input type="checkbox"/> 当日の状況による
周知・案内の方法	
出欠の確認方法	<input type="checkbox"/> 必要あり <input type="checkbox"/> 必要なし ・×切(いつまでに) _____ ; ・回答先(どこへ) _____ ; ・回答方法(どうやって); _____
会議の方法	<input type="checkbox"/> 単一方式(少人数型) <input type="checkbox"/> グループワーク方式(大人数型) <input type="checkbox"/> ワールドカフェ方式 <input type="checkbox"/> 円卓会議方式(多様な主体型) <input type="checkbox"/> その他( _____ )
机の配置方法	<input type="checkbox"/> 2列対面形 <input type="checkbox"/> 半円形 <input type="checkbox"/> 四角形 <input type="checkbox"/> 学校形式 <input type="checkbox"/> 椅子のみ <input type="checkbox"/> その他( _____ )
次第と時間配分	・ _____ ( 分) ・ _____ ( 分) ・ _____ ( 分) ・ _____ ( 分) ・ _____ ( 分) ・ _____ ( 分)
議事要旨の記録	<input type="checkbox"/> 各自 <input type="checkbox"/> ホワイトボード <input type="checkbox"/> プロジェクター投影 <input type="checkbox"/> その他( _____ )
役割分担	進行者: _____ 記録者: _____ その他: _____
準備物	<input type="checkbox"/> 配布資料: <input type="checkbox"/> 機材 : _____ <input type="checkbox"/> 物品 : _____
次回の日程と内容	
会議後の対応	※欠席者に資料と議事要旨を配布する、議事要旨を全員に配布する等
その他	

〇〇〇協議会  
〇〇〇〇会議 次第

〇年〇〇月〇〇日  
〇時〇分～〇時〇分  
〇〇交流センター〇〇会議室

会長あいさつ

参加者に何を求めたいのか、  
付議の目的を簡潔に記載。

議題

1. 〇〇〇〇について（資料1）

（趣旨） { …を決定したい。本日は…の議論のみとし、次回決定したい。  
…は本日決定し、…は次回決定したい。  
…について意見を求めたい。 }

2. 〇〇〇〇について（資料2）

（趣旨）……

3. 〇〇〇〇について（資料3）

（趣旨）……

報告事項

1. 〇〇〇〇について（参考資料1）

2. 〇〇〇〇について（参考資料2）

その他

【次回の日程】日時： 月 日（ ） 時 分～  
会場：

年 月 日

〇〇〇〇会議 ご欠席の皆様へ

〇〇〇〇協議会  
担当：〇〇

〇〇〇〇会議の開催結果について（報告）

平素より当協議会の活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。  
さて、〇月〇日に開催した〇〇〇〇会議にご欠席でしたので、その結果を下記（または別添）のとおりご報告します。  
今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。  
なお、ご不明な点などございましたら、事務局にご連絡ください。

記

長ければ  
別添方式で

1. 開催日 〇月〇日（〇）〇時〇分～〇時〇分  
2. 開催場所 〇〇交流センター〇〇会議室  
3. 出席状況 出席者数〇名  
ご欠席者）〇〇〇〇、〇〇〇〇

出欠入り名簿  
の添付でも可

4. 結果概要 議題1. 〇〇〇について

(1) 決まったこと

- ・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

簡潔に要点を記載

(2) 主なご意見

- ・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。
- ・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

反対意見も記載を

議題2. 〇〇〇について

(1) 決まったこと

- ・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

(2) 主なご意見

- ・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。
- ・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

5. 当日配布資料 別添のとおり

【お問合せ先】

〇〇〇協議会事務局（〇〇交流センター内）  
担当：〇〇

TEL 0854-40-〇〇〇〇

FAX 0854-40-〇〇〇〇

Mail \*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*